

安曇野市地球温暖化防止実行計画に係る 平成21年度 取り組み結果

種 別	21年度 (H21.4-H22.3)			20年度(H20.4-H21.3) [基準年度]	前年度比 (21年/20年)
	使用量	係数	CO ₂ 排出量Kg	CO ₂ 排出量Kg	
電気	9,863,680 KWh	0.481	4,744,430	4,501,800	105.39%
灯油	515,453	2.49	1,283,476	1,282,490	100.08%
LPG	89,414 m ³	6.00	536,486	500,151	107.26%
重油	143,095	2.71	387,787	443,757	87.39%
軽油	47,719	2.62	125,023	141,167	88.56%
ガソリン	115,902	2.32	268,892	281,990	95.36%
計			7,346,094	7,151,355	102.72%

総括

平成21年4月より、市内の地球温暖化防止に向けた取り組みがされてきた。その結果について、温室効果ガスの排出量を21年と20年度と比較する。

- ・ 温室効果ガス排出量は、約2.72%の増という結果となっている。しかし、施設数が20年度に比べ、増えている。(穂高生涯学習センター「みらい」と有明地区の保育園2園等。) これらの施設を除けば、**排出量は前年より約1%の削減となっている。**
- ・ 施設の中には、エネルギー使用量が、10%近くも削減されているところもある一方で、排出量が増えている施設もある。このことは、課、係、担当の統廃合や、施設修繕・改修によることから、単純には比較はできない側面もある。
- ・ 職員の日々の意識が大きく影響していると思われる。今後も、個々の職員が「無駄なエネルギーを減らす」という意識を持つだけで、かなりの温室効果ガス削減が期待できると考える。